



eGFR NAVI

操作説明書

バージョン 0.32

2026年6月

愛媛腎健プロジェクト

Ehime **R**enal **H**ealth **P**roject

目次

1. 画面の見かた
2. データの入力
3. CSVファイルの使いかた
4. 解析区間の選択
5. 表示オプションの切り替え
6. グラフの見かた
7. 解析結果の見かた
8. グラフの印刷
9. ダークモードとライトモード
10. よくある質問

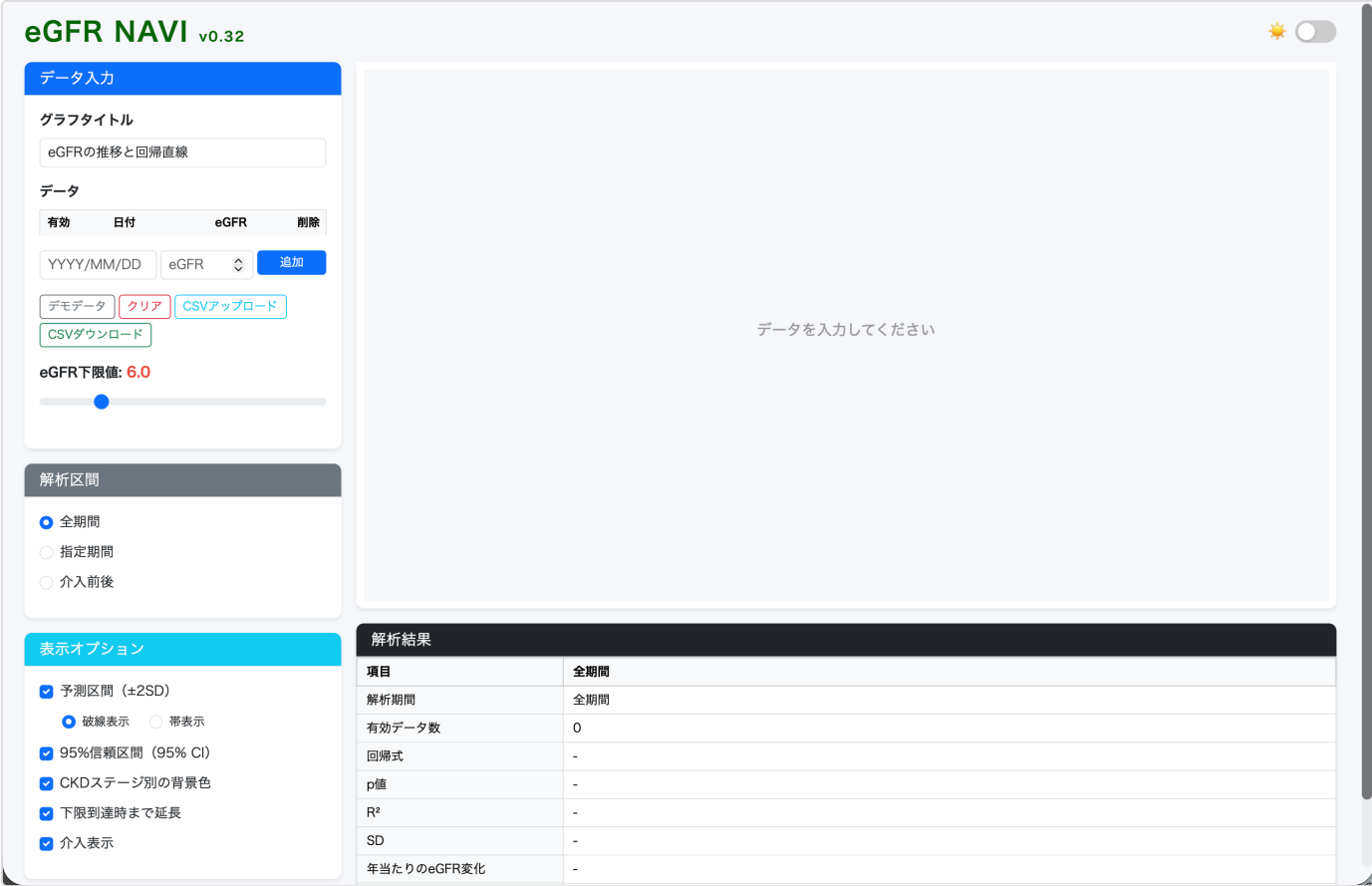
このシステムについて

eGFR NAVI は、CKD（慢性腎臓病）患者さんの eGFR の推移をグラフで表示し、腎臓の予後を推測するシステムです。

データはすべてユーザーが使うブラウザ(Chrome, Edge, Safariなど)内で処理されるため、患者情報が外部に送信されることはありません。

1. 画面の見かた

起動直後の画面（データなし）



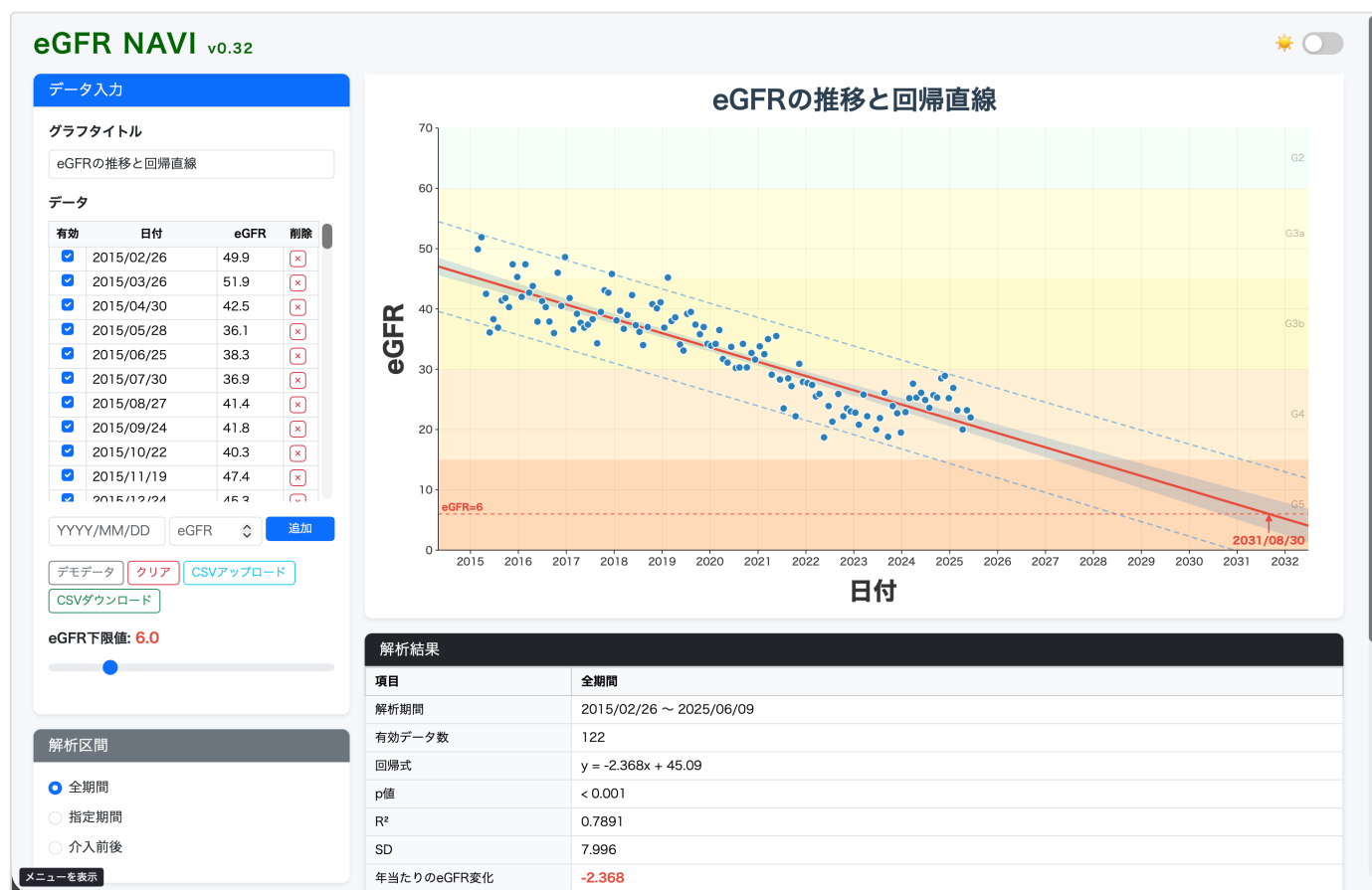
▲ 起動直後の画面。左側が操作パネル、右側にグラフと解析結果が表示されます。

画面は **左側の操作パネル** と **右側のグラフ・結果エリア** の2つに分かれています。

エリア	役割
左パネル	データの入力・各種設定をする場所
右パネル	グラフと解析結果が表示される場所

ポイント：左側で操作すると、右側のグラフと解析結果が**自動的に更新**されます。

デモデータ読み込み後の画面



▲「デモデータ」ボタンを押すと122件のサンプルデータが読み込まれグラフが表示されます。

「デモデータ」ボタンを押すと、サンプルデータが読み込まれてグラフが即座に表示されます。まずこれで操作感を確認することをお勧めします。

2. データの入力

2-1. 手入力でデータを追加する

左パネル上部の「データ入力」エリアから、日付と eGFR 値を1件ずつ入力できます。

1. 「YYYY/MM/DD」と書かれた欄をクリックして **日付を入力**します
例： 2024/01/15 または 20240115 （スラッシュなしでも OK）
2. **Enter**キーを押すと、自動的に eGFR の欄にカーソルが移動します
3. **eGFR の値**を入力します（例： 32.5）
4. 「追加」ボタン（青いボタン）をクリックします

入力のコツ：日付は 20240115 のように8桁で入力しても、自動的に 2024/01/15 に変換されます。

2-2. データ一覧の操作

操作	方法
データを解析から外す	「有効」列のチェックボックスを外す（データは残る）
データを削除する	「削除」列の × ボタンをクリック
一覧をスクロール	データが多い場合は一覧内を上下にスクロール

2-3. ボタンの説明

ボタン	説明
デモデータ	サンプルデータ（122件）を自動で読み込みます
クリア	全データを削除します。2回クリックが必要です（誤操作防止）
CSVアップロード	パソコンに保存した CSV ファイルを読み込みます
CSVダウンロード	現在のデータを CSV ファイルとして保存します

クリアボタンの確認画面

☒ 2015/09/24

41.8

☒ 2015/10/22

40.3

☒ 2015/11/19

47.4

YYYY/MM/DD

eGFR

デモデータ

CSVアップロード

CSVダウンロード

患者ID

eGFR下限値: 6.0

解析区間

☒ 全期間

☐ 指定期間

☐ 介入前後

表示オプション

☒ 予測区間 (±2SD)

☒ 破線表示

☐ 帯表示

☐ 95%信頼区間 (95% CI)

☒ CKDステージ別の背景色

☐ 下限到達時まで延長

☐ 介入表示

グラフ印刷

解析結果

項目	全期間
解析期間	2015/02/26 ~ 2025/06/09
有効データ数	122
回帰式	$y = -2.368x + 45.09$
p値	< 0.001
R²	0.7891
SD	7.996
年当たりのeGFR変化	-2.368
eGFR 6 到達予測日	2031/08/30

▲「クリア」を1回押すとボタンが赤く変わり「本当にクリア？」と表示されます。

⚠ 注意：「クリア」ボタンを1回クリックすると赤く変わり「本当にクリア？」と表示されます。3秒以内にもう1回クリックすると削除されます。3秒以上経つと自動的に元に戻り、データは削除されません。

2-4. eGFR 下限値スライダー

グラフに「透析基準となる eGFR の目安」ラインを引くためのスライダーです。

- 左右にドラッグして値を変更します（範囲：0～30、0.5刻み）
- デフォルトは **6.0**（赤字で現在値を表示）
- 設定した値の水平ラインがグラフに **赤い破線** で表示されます

3. CSVファイルの使いかた

3-1. CSVファイルの形式

CSVファイルは以下の形式で用意してください。Excelで作成・保存できます。

```
date,egfr
2024-01-15,32.5
2024-04-20,30.1
2024-07-10,28.8
2025-01-05,25.3
```

項目	形式
1行目（ヘッダー）	必ず <code>date,egfr</code> と入力
日付列	YYYY-MM-DD（ハイフン区切り）形式
eGFR列	数値のみ（小数点可）

3-2. CSVをアップロードする手順

1. 「CSVアップロード」ボタンをクリックします
2. ファイル選択の画面が開きます
3. 保存してある CSV ファイルを選択します
4. 自動的にデータが読み込まれ、グラフが表示されます

3-3. CSVをダウンロードする手順

1. 「CSVダウンロード」ボタンをクリックします
2. `egfr_data.csv` というファイルが自動的にパソコンに保存されます

4. 解析区間の選択

左パネルの「解析区間」カードで、グラフに使うデータの期間を選べます。

モード	説明
全期間	すべての有効データを使って回帰分析を行います。通常はこのモードを使います
指定期間	開始日・終了日を指定して、その期間のデータだけを解析します
介入前後	薬剤変更などの介入を境に前後を比較分析します

指定期間モード

☒ 2015/09/24

41.8

×

☒ 2015/10/22

40.3

×

☒ 2015/11/19

47.4

×

YYYY/MM/DD

eGFR

追加

デモデータ

クリア

CSVアップロード

CSVダウンロード

患者ID

患者検索

eGFR下限値: 6.0

解析区間

☐ 全期間

☒ 指定期間

☐ 介入前後

開始

2019/01/01

終了

2023/12/31

表示オプション

☒ 予測区間 (±2SD)

☒ 破線表示

☐ 帯表示

☐ 95%信頼区間 (95% CI)

☒ CKDステージ別の背景色

☐ 下限到達時まで延長

☐ 介入表示

10

0

2019

2020

2021

2022

2023

2024

日付

eGFR=6

G5

解析結果

項目	2019/01/01 ~ 2023/12/31
解析期間	2019/01/17 ~ 2023/12/26
有効データ数	58
回帰式	$y = -3.882x + 38.68$
p値	< 0.001
R ²	0.8107
SD	6.281
年当たりのeGFR変化	-3.882
eGFR 6 到達予測日	2027/06/18

▲ 指定期間モード。開始・終了日を入力するとその期間のみ解析されます。

日付を入力した後、**Enterキー**を押すとグラフが更新されます。

介入前後モード



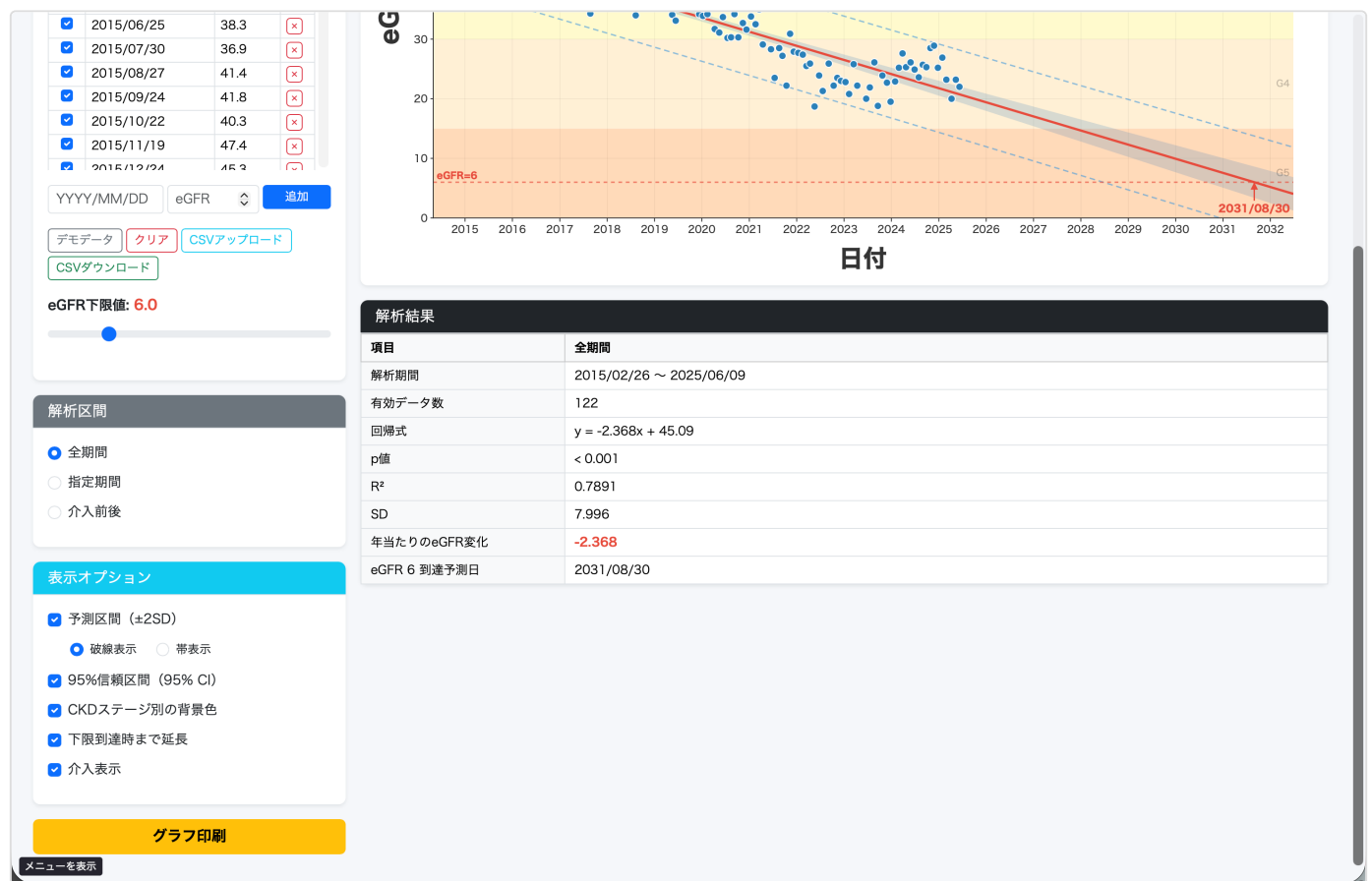
▲介入前後モード。青い点が介入前、オレンジの点が介入後のデータです。解析結果も2列になります。

1. 「**介入前後**」をクリックして選択すると、介入日付と介入内容の入力欄が表示されます
2. **介入日付**を入力します（例：2020/01/01）
3. **介入内容**を入力します（例：「SGLT2阻害薬開始」）
4. Enterキーを押すとグラフが更新されます

グラフの色	意味
青い点	介入前のデータ
オレンジの点	介入後のデータ
赤い線	介入前の回帰直線
緑の線	介入後の回帰直線

解析結果テーブルが「介入前」「介入後」の2列に自動的に拡張されます。

5. 表示オプションの切り替え

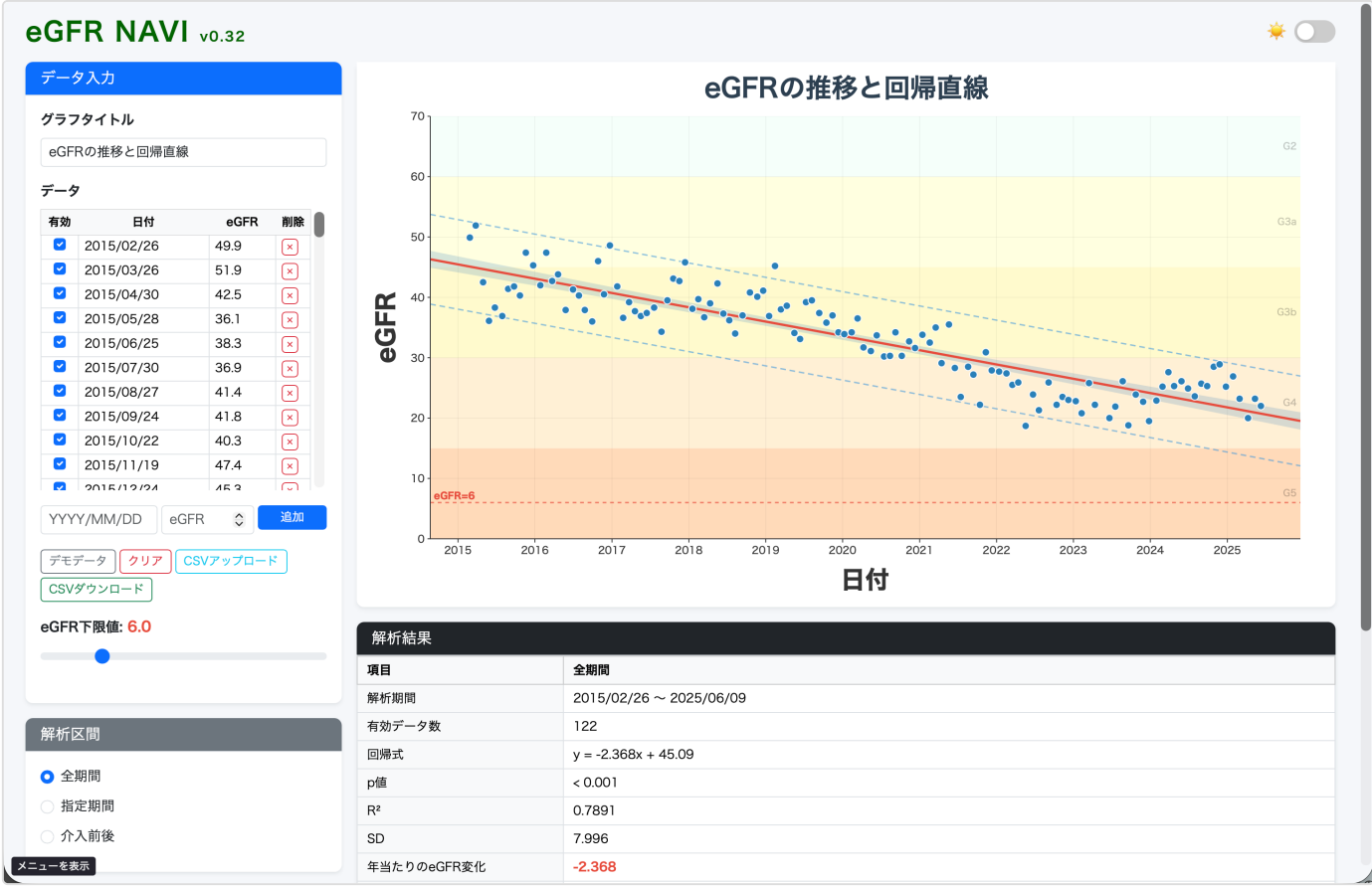


▲ 解析区間・表示オプション・解析結果テーブルの全体像。

オプション	内容
予測区間 (±2SD)	回帰直線の上に個々データの予測範囲を表示
└ 破線表示	予測区間の境界を破線で表示
└ 帯表示	予測区間を半透明の帯で表示
95%信頼区間 (95% CI)	回帰直線の信頼性の範囲を帯で表示
CKDステージ別の背景色	G1~G5 を背景色で区別して表示
下限到達時まで延長	X軸を下限到達予測日まで伸ばして表示
介入表示	介入マーカー (縦破線と内容ラベル) を表示

6. グラフの見かた

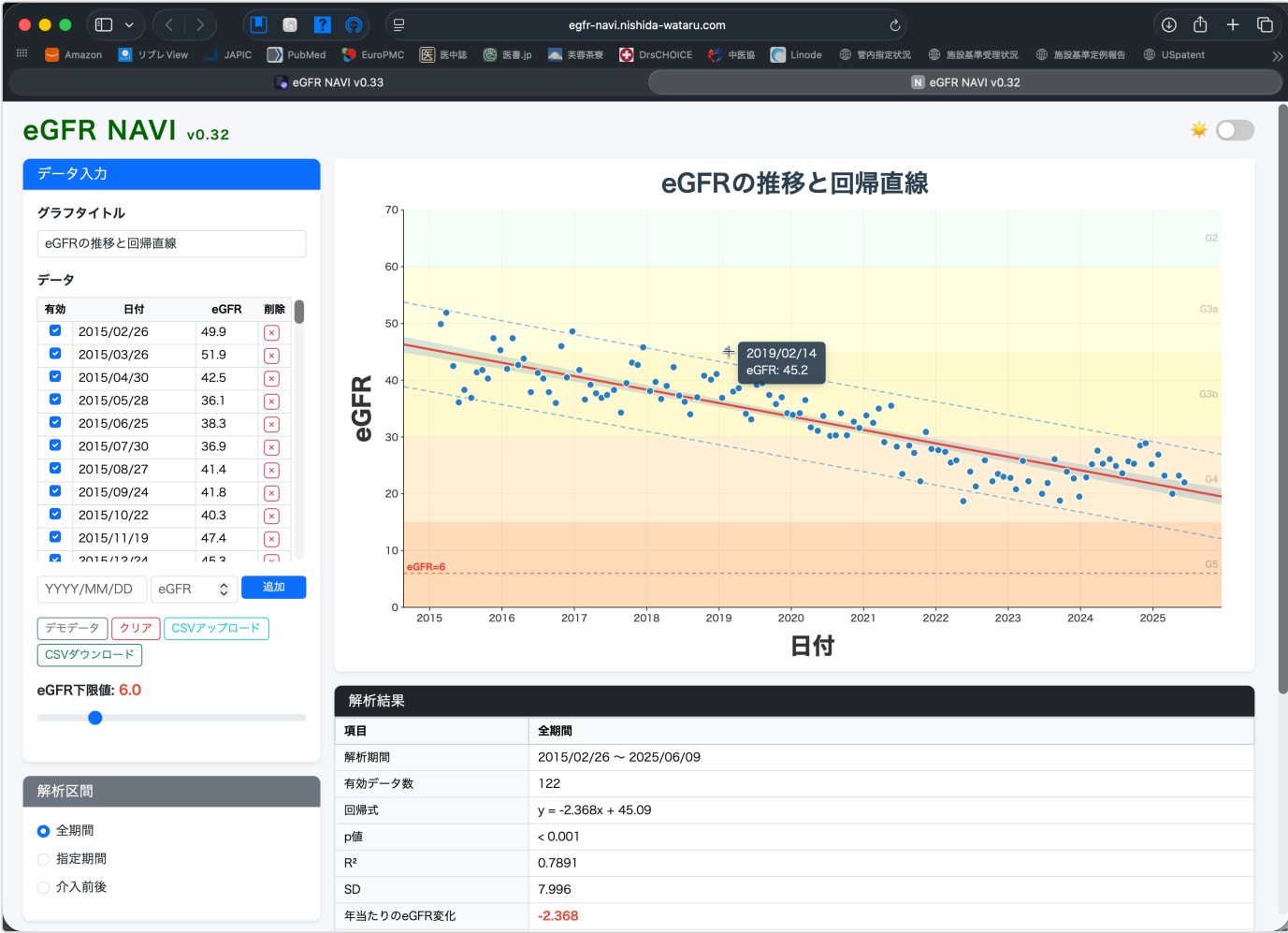
ライトモード（白背景）



▲ ライトモードでの表示。背景色でCKDステージが色分けされています。

要素	色・形	意味
データ点	青い丸	測定した eGFR 値
介入後データ点	オレンジの丸	介入後に測定した eGFR 値
回帰直線	赤い実線	eGFR の全体的なトレンド（将来予測の基準）
予測区間	青い破線	個々のデータが入ると予測される範囲
eGFR下限線	赤い水平破線	設定した下限値のライン
到達予測日	縦線 + 日付ラベル	下限値に到達する予測日

ツールチップ（マウスを乗せると表示）



▲ データ点にマウスカーソルを近づけると日付と eGFR 値が吹き出しで表示されます。

CKD ステージ背景色

ステージ	eGFR 範囲	背景色 (ライト)
G1	90 以上	ごく薄い緑
G2	60～89	薄い緑
G3a	45～59	薄い黄
G3b	30～44	薄い黄橙
G4	15～29	薄い橙
G5	15 未満	薄い赤橙

7. 解析結果の見かた

グラフの下に、統計解析の結果が表形式で表示されます。

項目	説明
解析期間	解析に使用したデータの開始日～終了日
有効データ数	解析に使ったデータの件数
回帰式	近似直線の数式 ($y = \text{傾き} \times x + \text{切片}$)
p値	統計的な信頼性の指標。0.05未満なら「トレンドあり」と判断。小さいほど信頼性が高い
R ² (決定係数)	直線への当てはまり度 (0～1)。1に近いほど良い
SD	データのばらつき (標準偏差)
年当たりのeGFR変化	1年間で eGFR がどれだけ変化するか (赤い太字で表示)
eGFR ○○ 到達予測日	現在のトレンドで推移した場合に下限値へ到達する予測日

「改善・維持傾向」と表示される場合：eGFR が上昇または横ばいのため、下限到達の予測はできません。

介入前後モードの場合：解析結果テーブルが「介入前」「介入後」の2列に自動的に拡張され、それぞれの統計値を並べて比較できます。

8. グラフの印刷

左パネル下部の「**グラフ印刷**」（黄色いボタン）をクリックします。

印刷の特徴

- **自動的に白背景** で印刷されます（ダークモード設定時でも白黒印刷対応）
- 左側の操作パネルは印刷されません（グラフと解析結果のみ印刷）
- ページ下部に「eGFR NAVI v0.32」のバージョン表記が自動的に入ります

印刷の手順

1. 「**グラフ印刷**」 ボタン（黄色）をクリック
2. 印刷ダイアログが開きます
3. プリンターを選択して「印刷」をクリック

9. ダークモードとライトモード

画面右上のスイッチでモードを切り替えられます。



▲ ダークモード表示。暗い部屋や夜間の使用に適しています。

モード	特徴
ライトモード ☀	白い背景。明るい部屋や印刷に適しています
ダークモード 🌙	暗い背景。夜間や暗い部屋で目に優しい表示です

10. よくある質問

Q. データを誤って削除してしまった

A. 削除は元に戻せません。定期的に「CSVダウンロード」でバックアップを保存しておくことをお勧めします。

Q. グラフが表示されない

A. データが**3件以上**ないと解析できません。「有効データが3件未満のため、解析を実行できません。」と表示されている場合は、データを追加してください。

Q. 「指定期間」を設定したのにグラフが変わらない

A. 日付を入力した後、**Enterキー**を押してください。

Q. 下限到達予測日を変えたい

A. eGFR 下限値スライダーを調整してください。スライダーを右に動かすと高い値（より早い予測日）になります。

Q. 介入前後で治療効果を比較したい

A. 「解析区間」で「介入前後」を選択し、介入日付（例：薬剤変更の日）と介入内容を入力してください。グラフに介入日の縦線が引かれ、前後の回帰直線が別々に表示されます。

Q. 印刷するとグラフが見づらい

A. 「グラフ印刷」ボタンを使うと自動的に白背景になります。

Q. データをエクセルで管理したい

A. 「CSVダウンロード」でデータを保存し、Excel で開くことができます。Excel で編集した後、「CSVアップロード」で読み込み直すことも可能です。